

とことこ景観賞

番号	年度	名称
1	平成23年度	荒幡富士(浅間神社) / 荒幡富士保存会
2	平成23年度	東川の活動 / 東川を愛する会
3	平成23年度	ところざわまつり / ところざわまつり実行委員会
4	平成23年度	所澤神明社 / 宗教法人 所澤神明社
5	平成23年度	所沢郷土美術館 / 平塚宗臣
6	平成23年度	狭山湖一帯の景観
7	平成23年度	ケヤキ並木
8	平成23年度	所沢航空記念公園一帯の景観
9	平成23年度	三富新田
10	平成26年度	砂川堀のしだれ桜
11	平成26年度	東川の桜並木
12	平成26年度	旧和田家住宅(クロスケの家) 主屋・製茶工場・土蔵 / 公益財団法人トトロのふるさと基金
13	平成28年度	多聞院 / 宝塔山 吉祥寺 多聞院

変更点①-1 西路線
狭山ヶ丘駅の西側区間を廃止する。
(ところワゴンのみの運行とする)

ところワゴン 林・花谷ルート

12 旧和田家住宅(クロスケの家) 主屋・製茶工場・土蔵
旧和田家住宅(クロスケの家)は、製茶業を営んでいた農家の屋敷で、主屋・製茶工場・土蔵共に築100年以上の歴史のある建造物です。昔の農家の生活文化にふれることができ、周囲の茶畑・屋敷林は、ふるさと所沢の面影を残し豊かな自然を感じることが出来る景観となっています。

変更点④吾妻循環コース
鉄道駅の名称変更に伴いバス停の名称を「遊園地西駅」から「西武園ゆうえんち(駅)」に変更する。

とことこ景観賞とは
所沢らしい良好な景観は、市民の多くの方によっていただき、親しまれていくことで次世代に継承されていきます。市では、市民の皆さんに景観に対する関心をお持ちいただくために良好な景観を「とことこ景観資源」に指定し、市HP(「とことこ景観資源」で検索)で紹介しています。「とことこ景観資源」のうち、特に所沢らしい良好な景観の形成に資するものを、とことこ景観賞として表彰しています。

10 砂川堀のしだれ桜
変更点①-2 西路線
新所沢駅西口～狭山ヶ丘駅東口間で運行本数を増便する。

とことこ景観賞
若狭・三ヶ島ルート

17 八国山
八国山は、なだらかに広がる狭山丘陵の東端に位置し、コナラやクスノキ等の雑木林の中を散策できるよう歩道が整備されています。八国山とは、上野、下野、常陸、安房、相模、駿河、信濃、甲斐の八ヶ国の山々が眺望できたことに由来すると言われています。八国山の中には、源氏の武将である新田義貞の武蔵野征討を偲ぶ将軍塚が建立されています。



13 多聞院
多聞院は、上富、中富、下富の村民のための祈願所として元禄9年に創建されました。鹿沙門堂の建築様式は、和様と唐様を交えたもので、江戸時代中期の御堂建築として貴重なものです。境内には、ボタン、雪割草、クマガイソウなどの植物のほか、ハンカチの木も見られ、日頃の手入れにより、訪れる人を魅了し、和ませる景観となっています。

9 三富新田
変更点②柳瀬循環コース
南永井通り～卸売市場間にバス停を新設する。

変更点③松井循環コース
左回り1便の時刻を変更する。

5 所沢郷土美術館
所沢郷土美術館は、幕末から明治時代にかけての医家として、主屋、長屋門、土蔵が国の登録有形文化財として2005年に登録され、現存する医家住宅として貴重な景観となっています。

11 東川の桜並木
市内中央部を流れる東川の両岸には、東京オリンピックを記念し、西新井町から牛沼に至る全長約2kmの両岸に180本が植樹されています。現在では、東所沢まで続く約5kmの桜並木となっています。開花時期には夜桜を楽しむ場所もあり、多くの方から親しまりを持たれている景観となっています。

